

# 子どもの笑顔がいちばん。 学び、つながり、支え合う...それが全教です

子どもの伸びる力を引きだす教育は、生涯をかけるにふさわしい素晴らしい仕事です。

子どもたちの「わかった」「できた」という笑顔があふれる学校にしたい！ 私たちの組合(全日本教職員組合)は、「いい教育をしたい」「安心して働き続けたい」の要求と、両方を大切に運動しています。

各地の組合では、学級づくりや教科の実践講座にとりくんだり、授業や学級のとりくみを持ち寄って学び合う青年の自主的な学習会を応援しています。全国では、少人数学級制度の実現や競争教育の改善などの運動をすすめています。

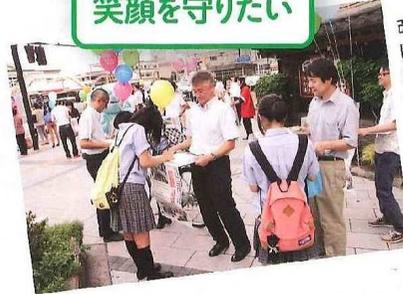
組合に入って、悩みも出し合ってともに学び、力を合わせ子どもたちの笑顔あふれる学校をつくりましょう。

いい先生になりたい  
いい仕事がしたい

若い教職員の願いに応じて、知りたいことを学ぶ場、交流できる場をつくっています。職場で身近な実践を持ち寄るの学習会や、全国の仲間が集まる研究集会、さらにフットサル大会など、多彩なとりくみが企画されています。いっしょに学び、楽しみましょう。



子どもたちの  
笑顔を守りたい



30人学級の実現など、教育条件改善を求める運動を保護者や関係団体とすすめています。1889年からとくむ「教育全国署名」は総計で約4億2000万筆にのぼり、小学校低学年の35人学級や公立高校の授業料無償化と私立高校の就学支援金制度なども実現してきました。

職場に  
助け合いの輪を



結婚や出産など、一人ひとりの人生の節目を職場のみならず喜び合える。そんなあなたがい職場にしたいですね。そのために、毎月600円の掛け金を出し合って、お祝いやお見舞いの共済制度を全国でつづけています。全教は「教職員の支え合い」の輪を広げます。(右の共済制度を見て下さい)

子どもたちに  
平和な未来を手渡したい

原発、放射能への不安が広がるなか、「子どもたちの未来に原発はいらない」の集会やパレードに参加しています。また、「核兵器全面禁止署名」や折鶴を集め、原水爆禁止世界大会に毎年全国から青年が参加し、平和の思いを学校で子どもたちにも伝えています。



被災地の  
支援に役立ちたい



被災地に心をよせ、「何か役に立ちたい」という教職員の思いをあつめ、支援カンパやボランティア活動にとりくんできました。また、「放射能を気にせず思いっきり遊びたい」と願う福島の子どもを各地に招き、「福島の子どものびのびタイム」をプレゼントしました。

## 全教は あなたの思いに こたえます。

何とかしたい!  
この働き方

全教は、文部科学省や教育委員会に賃金や勤務条件の改善を求めています。長時間労働の解決が教育委員会や校長の責任であることを認めさせ、妊娠中の勤務軽減のルールも拡充させています。職場でも、おかしいと思ったことに、しっかりものを言えるのが組合です。

子育て中だからこそ  
つながりたい



育休中の教職員は、子育てのこと、保育園のこと、復帰した後の学校のことなど不安がいっぱいです。その切実な悩みや願いを受けとめて、先輩の話を聞いたり、同じ立場の教職員どうしておしゃべりしたりする会を組合で企画するとりくみがはじまっています。



webにアクセス

全教 |

検索